

＜ 地理歴史・公民 ＞科 学習シラバス

科 目		政治・経済		学年・類型		3年生 紙のまちづくり		単位数		2 単位		教科書		最新政治・経済（実教出版）						
学習の到達目標				社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。																
評価の 観 点		A 知識・技能						B 思考・判断・表現						C 主体的に学習に取り組む態度						
評価の 内 容		社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。						国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想する力や、構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養っている。						よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めている。						
評価の 方 法		・定期考査 ・学習活動における発言内容						・定期考査 ・予習や復習、プリント(板書)の 取組状況 ・長期休業中の課題						・学習活動への参加姿勢や態度 ・学習活動における発言内容 ・長期休業中の課題						
学期		月		単元名・小単元名				学 習 の 指 導 内 容										評 価 の 観 点		
																		A B C		
1 学 期	4	第1部 現代日本の政治・経済		・政治、国家や法のあり方について考え、基本的人権の歴史的発展や法の支配について理解する。 ・権力分立と立憲主義はなぜ重要なのかを考え、各政治制度の特徴を理解する。 ・日本国憲法の成立過程を踏まえて、明治憲法との違いを理解する。 ・日本国憲法の基本原理を理解し、憲法の改正手続きについて考える。 ・自由権や平等権・社会権・新しい人権・公共の福祉について理解する。 ・日本の安全保障政策の展開と課題について理解する。 ・国会の役割や権限について理解する。 ・内閣の権限と議院内閣制について理解する。 ・司法制度のあり方や司法参加の意義について理解する。 ・地方自治の本旨や住民の権利、地方のかかえる課題について理解する。 ・日本の政党政治の特徴と課題について理解する。 ・日本の選挙制度の特徴と課題について理解する。 ・マス・メディアや市民運動の意義について理解する。 ・経済的な効率性と公平性の対立関係や経済的な課題への対応について考える。 ・経済主体を理解し、市場メカニズムや効率性と公平性の調整の仕方について考える。 ・企業の役割と社会的責任について考える。 ・三面等価の原則や、経済成長と私たちの豊かな生活について考える。 ・金融を通じた経済活動の活性化について考え、中央銀行の役割について理解する。 ・財政の持つ様々な役割や納税者としての立場から租税のあり方について理解し、日本の財政の現状を踏まえたうえでこれからの財政のあり方を考える。 ・歴史的な事象が日本経済に与えた影響を、統計資料を基に考える。 ・日本経済のあり方とこれからの中小企業の姿を考える。						○		○								
		第1編 現代日本の政治								○		○		○						
		第1章 現代国家と民主政治								○		○		○						
		第2章 日本国憲法と基本的人権								○		○		○						
	5	第3章 日本の政治制度と政治参加		○		○		○												
				○		○		○												
				○		○		○												
	6	第2編 現代日本の経済		○		○		○												
		第1章 現代の経済社会		○		○		○												
	7			○		○		○												
第2章 現代の日本経済と福祉の向上		○		○		○														
2 学 期	8・9			・農業の自由化を背景として改革が進められている農政について考える。 ・消費者行政の内容を知り、契約の権利と責任の関係を考える。 ・経済成長と公害問題との関係、私たち消費者の行動について考える。 ・労働法の整備状況や、職場の人権保障、日本的雇用形態の変化、ワーク・ライフ・バランスについて考える。 ・諸外国の制度との比較、少子高齢化や日本の財政の現状も踏まえながら、今後の課題を理解する。 ・少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方を可能にする社会、産業構造の変化と起業、歳入・歳出両面での財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述する。						○		○								
		第3編 現代日本における諸課題の探究								○		○		○						
	10	第2部 現代の国際政治・経済		○		○		○												
		第1編 現代の国際政治		○		○		○												
	11	第1章 国際政治の動向と課題		○		○		○												
				○		○		○												
	12	第2編 現代の国際経済		○		○		○												
		第1章 国際経済理論		○		○		○												
	第2章 国際経済の動向と課題		○		○		○													
			○		○		○													
3 学 期	1	第3編 国際経済における諸課題の探究		・援助と開発の過程について確認する。 ・グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長市場、人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりなどについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述する。								○		○						
										○		○		○						
										○		○		○						
学習のポイント		・教科書を熟読したり、ノートやプリント等を確実にまとめたりする。自宅で、予習と復習を行い、学習内容の理解に努める。 ・自分の意見や考えを具体的に表現し、積極的に発言する。返却されたテストやレポート、自己評価等の見直しを行う。 ・ニュース・新聞などから情報を得て、社会事象全般に対する興味・関心を高めておく。																		